

(仮称)久喜市自治基本条例策定 第8回 ワークショップ記録

日時	平成23年6月5日(日) 9:30~11:45
場所	久喜市役所 4階 第3~6会議室
参加者	市民ワークショップメンバー: 30名 久喜市自治振興課: 9名 株地域総合計画研究所: 5名
次第	1. 開会 2. 報告事項 3. 提言書(案)の確認 4. 閉会 5. 提言書の提出
配布資料	資料1 提言書(案) 資料2 (仮称)久喜市自治基本条例策定に関する提言書(案)新旧対照表 報告1 第7回ワークショップ記録 報告2 第9回~第10回起草委員会 記録 報告3 ワークショップニュース第2号

○記録の要旨

1 開会

- ・ 配布資料の確認。
- ・ 本日の進め方の説明。
- ・ 終了時間の確認。

2 報告事項

- ・ 提言書(案)作成に当たり、起草委員会の活動報告を行った。
- ・ 提言書の提出時に各グループから代表を1名ずつ出すことをお願いした。
- ・ ワークショップニュース第2号が完成したことを報告した。

3 提言書(案)の確認

- ・ 提言書(案)の内容確認を行った。第7回に配布した提言書(素案)からの修正点を資料2を使って確認した。
- ・ グループでの確認の結果、提言書(案)の修正提案が4か所挙げられたため、起草委員が修正文案を作成し、ワークショップメンバーに提案した。
- ・ 4か所の修正文案について同意が得られたため、提言書(案)に修正を加え、提言書(案)を市長に提出することを合意した。

≪修正箇所≫

● 5. 情報共有 1) 情報公開及び共有 【解説・背景】

- ・ 以下の文章を追加した。
「適切な管理運用面も含めた制度の充実を図ることが必要です」

- 5. 情報共有 3) 情報の有効活用等 【条例に盛り込む内容】
 - ・ 以下の文言を追加した。
「～情報化の推進を図るため、市民に分かりやすく公開し、市の保有する情報を～」
- 8. 行政 3) 行政評価 【条例に盛り込む内容】 3つ目
 - ・ 文頭を修正し、以下の文言とした。
「・ 市民が参画した事業見直し～」
- 8. 行政 3) 行政評価 【解説・背景】 3つ目
 - ・ 文末を修正し、以下の文言とした。
「～相互にチェックできるいわゆる事業仕分等を継続的にすることが必要です。」

4 閉会

- ・ 条例策定までの過程を事務局より説明した。

5 提言書の提出

- ・ 各グループからの代表5名が、市長へ提言書を提出した。

1. 「参加・協働」グループ

1. 「5. 情報共有」

1) 情報の公開及び共有

【文案の移動と語彙の削除】

- ・ もともと“条例に盛り込む内容”にあった2項目目の文案は「3) 情報の有効活用等」に移動されたが、「適切な情報提供」と「市民に分かりやすく公開」という趣旨が削除されている。

3) 情報の有効活用等

【「適切な情報提供」と「市民に分かりやすく公開」の挿入】

≪条例に盛り込む内容≫

- ・ 「適切な情報提供」と「市民に分かりやすく公開」という趣旨を挿入する。

2. 「6. 参加・協働」

3) 付属機関（審議会等）への市民の参加

- ・ もともと“条例に盛り込む内容”の3項目目にあったチェック機関での審査の文案は主語が明確ではなく、今回で文章が完成されているつもりでいたが、削除されたに過ぎない。
- ・ 市民参加がしっかり行われているかどうかのチェックを行うことと、チェック機関はどこなのかという2つの主題が削除で良いのだろうか。

3. その他

- ・ 前回の第7回ワークショップにおいて、「参加・協働」グループで提起した課題は他にもいくつかあったが、取り上げられた項目は「5. 情報共有」の「1) 情報の公開及び共有」の“解説・背景”にある「地域情報」のみであり、その他は削除か却下の扱いになってしまっている。
- ・ 事前に、前回の素案と今回の提言書（案）を突き合わせて比較して、今日、市長に手渡すというスケジュールを考えた時に、提言書に反映することは難しいかもしれないと考えられた。
- ・ ワークショップの最後で、「5. 情報共有」の「3) 情報の有効活用等」に文章を追加できたことにより、参加した意味合いを感じる事ができた。

2. 「地域コミュニティ」グループ

1. 提言書（案）全般の確認結果

- ・ 提言書（案）を1ページ目から最終ページの全てについて確認を行った。その結果、提言書（案）は修正なく了承された。なお、特に意見のあった項目は住民投票の部分であった。

2. 「13. 住民投票」

【必要性のみの記述】

- ・ 今回は必要性のみを表現する形式になったが、1つに絞った方が今後、市民で議論がしやすいのではないかと考えられる。市民の議論を巻き起こす上では、無理にでも一つに絞っても良かったかもしれない。
- ・ 無理に一つに絞ると、ワークショップとしては責任が持てないことになるので、必要性のみを記述することで良いと思う。
- ・ ワorkshopとしての責任はそうであるが、自治基本条例の話が市民に広がらない場合、どのようにして広げたら良いかと案じてはいる。

3. 「行政」グループ

1. 「3. 定義・基本原則」

1) 定義

【協働】

- ・ 「それぞれ」という表現が同一文中に2回出ているため、後者に出てくる「それぞれ」を削除した方が良いと思う。

【コミュニティ】

- ・ 「～地域課題に自主的に取り組む、人と人との」と、読点を追加した方が読みやすいと思う。
- ・ 条文を。

3) 市の責務

【「効果的」の挿入】

- ・ 4項目目の文案において、「効果的」という表現に変更したいと思う。

2. 「6. 参加・協働」

3) 附属機関（審議会等）への市民の参加

- ・ 委員を公募するにあたっての透明性の確保と、公募市民の割合の増加を明確に文章中に打ち出したかった。

3. 「8. 行政」

3) 行政評価

【「市民が参画した」の表現】

- ・ “条例に盛り込む内容”の3項目目を「市民を入れた」ではなく、「市民が参画した」という表現にしたい。
- ・ “解説・背景”の3項目目において、事業仕分けを継続的に行うという文言を明記したい。

《条例に盛り込む内容》

- ・ 3項目目を「市民が参画した事業見直しの～」と修正する。

《解説・背景》

- ・ 3項目目を「～行政と市民とで相互にチェックできるいわゆる事業仕分け等を継続的に～」と修正する。

6) 職員の責務

【読点について】

- ・ 「市民の立場に立って、自らの職務を～」と読点を削除したほうが分かりやすいと思う。

4. 「11. 住民投票」

1) 住民投票の必要性及び形式

【常設型のイメージ】

- ・ “条例に盛り込む内容”の1項目目において、「市民が直接その意思を表明する」という表記だと、常設型にするというイメージを一般的に与えることになるのではないかと危惧する面もあるが、様々な意見が合って、「常設型」「個別型」どちらにも結論がつかなかったことを市民に伝えていくことが必要だろう。

5. その他

【自治基本条例策定の背景について】

- ・ 阪神淡路大震災だけを出すのは、最新の状況に対応してないように見える。東日本大震災についても言及してほしいと思う。

【久喜市における自治基本条例の必要性について】

- ・ 「旧1市3町」という表現が同一文中に2回出てくるため、後者の方を削除した方が良いと思うが、今後整理するときには検討して欲しい。
- ・ 「合併間もない」と表記するのは言い訳のように感じるため、削除した方が良い。それにより、文案も整理した方が良いのではないかと思う。

4. 「議会」グループ

1. 提言書（案）全般について

- ・ 当初の提言案からすると、全体的にスマートに、また格調高くなった感じがする。提言案も法文化しなければならないが、法律的な文章にすると、徐々にこうしたスマートな文章にならざるを得ない。

2. 提言書（案）全般の確認結果

- ・ 起草委員会から出された修正箇所の提案について全て確認し、起草委員会の提案がグループ全員から了承された。また、グループ内のワークショップメンバーからも、個別の修正意見等はなかった。

5. 「条例の実効性担保・運用、住民投票」グループ

1. 「3. コミュニティ」

1) 定義

【コミュニティ】

- ・ コミュニティは組織だけでなくコミュニティの活動の事もあるのだから、組織だけでなく活動についても定義が必要ではないか。

2. 「5. 情報共有」

1) 情報の公開及び共有

【公開制度の確立について】

- ・ “解説・背景” に公開制度の確立とはどういうことかが触れられていないので、追加した方が良い。

≪解説・背景≫

- ・ 「適切な管理運営を含めた制度の充実を図ることが必要です。」を追加する。

3. 「8. 行政」

4) 財政

【企業会計制度の例示について】

- ・ 市民が一般的に思いつくのは企業会計なのだから、例示として出してもおかしくないのではないか。
- ・ 今の広報に載っている市の財政の説明が分かりにくい事は間違いない。広報で使用している用語等を丁寧に解説することがまず必要だ。